

農業における転倒災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	8~9	本人は、2tトラックにて廃棄用トマトの搬出作業を行っていた。廃棄用トマトを搬出後、トラックの後ろあおりを外して、コンクリート舗装の上の荷台に置こうとした際、路面が凍結していた為あおりと共に前方に転倒し、右手の甲と顎を負傷した。	41~299	100
1	14~15	ネギ調整作業場にてネギ調整が終わったケースを持ち運び中、ゴミ入れのケースに足を入れて滑り、左足を捻挫し、左手親指付け根を打撲した。	67~29	10
2	16~17	水路に落ちたゴミを掃除していた。そのゴミを道路側にある作業車まで運ぶためにフェンスを跨いだ際、腰に付けていた道具が引っ掛かり、バランスを崩し転倒して負傷した。跨いだ際に両手にゴミを持っていたため受け身を取ることが出来ず、不安定な体勢で着地して、左足を痛めた。	20~29	10
2	7~8	現場に出かけようと、事務所の階段を下りて道路に出ようとした際に不注意で躓き、右足を捻ってしまい、右足首を負傷した。	45~9	1~
2	16~17	作業現場にて、樹木の剪定作業後、木を片付けていたところ転倒し、切り株に左胸部を強打した。作業を続けていたが痛さに耐え兼ね、業務終了後、病院で診察を受けた。	64	—
2	8~9	柑橘撰果場で、10kg段ボールに詰められたデコポンを所定の位置まで運びパレットに積む作業を行っていた。積み上げられたパレットの上段に荷物をのせる際、使用していた手押し台車に型足を踏み掛け段ボールをのせようとしたところ、台車が動きバランスを崩し、転倒し頭部を強打した。	70~9	1~

2	14~15	就業場所の入口にて、さつまいもの入ったコンテナを降ろそうとした際に、足が絡まり、前方向に倒れ、ブロックに顔面を強打した。強打した際にとっさに右手を地面についた為、右手と右肩に強い痛みを感じた。（床に何か落ちていたわけではない。）	66	30 ~ 49
3	11~12	工場施設の敷地内にある傾斜地での伐採作業に先立ち、落ち葉の清掃作業を行っていたところ、足元を滑らせ転倒した拍子に右肘を地面につき、その衝撃で右肩を脱臼した。	34	10 ~ 29
3	9~10	ハウスで収穫したみつばを軽トラックに積み込んでいた際、よろけて舗装路面に尻もちをついた。	54	10 ~ 29
3	16~17	庭木伐採作業の枝片付け作業中、枝を引っ張ったところ、斜面での作業だったため足をとられてよろけてしまい、地面に足をついた時にゴキッと音がした。その際に激しい痛みがあり、骨折と判明した。	67	1~ 9
3	10~11	マッシュルームの栽培棟内で、出入口に置いてある摘み取り用のカゴを取りに行く途中、摘み取り台をくぐる時に足を滑らせて転倒した。	62	50 ~ 99
3	16~17	みかんの木の剪定をして、枝を抱えて一ヶ所に運んでいた際に草で足を滑らせ転倒し、左足の甲を不全骨折した。	44	1~ 9
4	11~12	トラックの荷台上で野菜苗が入っているトレーを苗棚より積み降ろし作業中、誤ってバランスを崩し荷台上にて転倒し、右脇腹を強打した。痛みがあったがそのまま作業したところ、痛みがひどくなり気分が悪くなった。後日に右肋骨（9番）にヒビが入っているとの診断を受けた。	46	10 ~ 29
4	15~16	傾斜のある山の畑で肥料散布中、移動のため乗っていた運搬車の助手席から降りる際、地面が軟弱だったため足を滑らせ転倒した。	27	1~ 9
4	12~13	倉庫にて商品整理の際に、ダンボール箱を移動中に転倒し、プラ鉢の入っているダンボール箱に右腕を強打して転び、右腕を3ヶ所骨折した。	63	1~ 9
	13~	ポット土詰め作業場において、空のポット容器を搬出作業中に、下に置いてあった		10

4	14	ポット容器につまずいて、前のめりに転倒した。	65	～ 29
4	10～ 11	6号棟にてハウス内の棚の洗浄作業中に床の泥に足を取られ転倒した。体を支えるため手で棚を掴もうとした時、棚を支える金具に右手が接触し負傷した。	68	30 ～ 49
4	8～9	コケ張り中に飛び石があるところにおいて、同僚と現地確認のために歩いていたところ、鳥避けのためコケ上部高さ20cm程度の位置で所々張っていた透明ナイロン糸（テグス）のことを知らず、足をとられて転倒し、飛び石の上に前のめりに倒れ込んだ。当初は両肘が痺れていたが、徐々に両手の中指と薬指が曲がらず痛くなり、両手の中指だけがひどく痛んだ。	74	10 ～ 29
4	14～ 15	ビニールハウスの入口付近で肥料を運搬中、出入口の段差につまずいて右手首から手をつき転倒し、右手首を骨折した。	63	1～ 9
5	13～ 14	作業場でコンテナを運び出す作業中に渡されたコンテナの中に蛇が巻き付いており、驚き転倒し、手と頭を打ち、左手首を骨折した。	64	10 ～ 29
5	16～ 17	お客様宅の作業現場にて、製作中に大雨が降り、ダンプ脇に置いてあった電動工具をダンプキャビン内に移動させようと慌てて走り寄った際に、深さ15～20cm程度の側溝に右足を落として転倒し、右膝の半月板が断裂した。	33	1～ 9
5	8～9	個人宅の庭の消毒に行くため、倉庫にて準備をしていた際、工具を取るために移動していたところ、地面にあったビニールシートに滑り右手で地面をつき、右手首を負傷した。	63	1～ 9
5	15～ 16	田んぼで田植えの補助作業中、苗を受け取って振り向いて田植機の棚に上げようとした時、水路に右足が落ちてしまい、右足親指を怪我した。	67	1～ 9
5	14～ 15	畑で草刈機使用中、草に足を引っ掛けて強く転倒し、左の腰から足にかけて打撲し、痛みが取れずに歩きにくくなった。	73	1～ 9
6	13～ 14	ビニールハウスでの作業中に、移動するためハウスの間を通行していたところ、雨水を逃がす溝部分で足を滑らせ左足首を捻った。	51	1～ 9

6	14~ 15	りんごの枝を拾い集めていたところ、落ちていた枝に靴が引っ掛かり、転んでしまった。その際に左肘を地面に打ちつけて負傷した。	77	1~ 9
6	9~ 10	当社苗栽培ハウスで出荷作業中に、床面くぼみに足をとられ転倒した。その際、右足くるぶしを骨折した。	50	1~ 9
6	9~ 10	スイカ畑でスイカの収穫作業をしていた時、畑で滑ってしまい、スイカが入ったコンテナで腰を打ってしまった。	67	1~ 9
6	9~ 10	作業を始めるため倉庫に道具を取りに行った時、前日の雨で濡れていた泥を踏み、滑った際に左手をつき手首を骨折した。	71	1~ 9
6	0~1	ねぎの収穫作業が終了し、後片付け後、ねぎの表皮を捨てる作業をしていた際に足を滑らせて転倒し、負傷した。	73	10 ~ 29
7	9~10	ハウス内でトマトの収穫作業中、ぬかるみに足を取られ滑って転倒した際に、左大腿骨を地面に強打した。	65	10 ~ 29
7	17~18	除草作業後、帰社し片づけ作業をしていた。トラック荷台から自走式草刈機を下ろした（後向きでの作業）ところ、足を絡ませてしまい、体勢を崩し後向きに転倒し、事務所のドアに頭を打ち付けた（一人で作業しており、被災者の記憶が定かでないため詳細不明）。大きな音に驚いて近くに居た者が様子を見に行ったが、その時点では意識がはっきりしており、ケガも心配なさそうな様子で、片づけ作業を再開した。しばらくして、社長その他の者が帰社したところ、被災者が朦朧とした様子だった。	60	1~ 9
7	13~14	倉庫から農業用ハウスに肥料を運んでいる時に、通路にひいてあるビニールシートが雨で濡れていて、滑って転倒した。その際に手をひねりトイレの壁に強くぶつめた。尚、肥料の重量は約10kgだった。	54	10 ~ 29
7	15~16	田んぼの排水溝を渡ろうとした時足を踏み外した。	53	1~ 9
		社内梱包室において机の前の位置で立った状態で梱包作業を行っていた時に床に落		30

7	11~12	ちていた袋を拾おうとして手を伸ばしながら足を移動した時に床が水で濡れていたため足が滑り足を開いた状態で転倒した。	38	~ 49
7	16~17	みかんの摘果作業中に石につまずき転倒して、左手をついて、左手首を骨折した。	68	1~ 9
7	13~ 14	ハウス内での作業が終わり、ハウスの外に出ようとした時、ハウスの出入口が前日の雨でぬかるんでいて、足を滑らせ膝を折り曲げたかたちで転び膝から地面についた為右膝を負傷した。(右膝打撲)	56	1~ 9
7	15~ 16	当農園内において、りんごの葉摘み作業中、休憩に入るため休憩場所へ向かう途中足を滑らせ転倒した際、右肩を強く打ち負傷したものである。	73	1~ 9
7	10~ 11	農業用ハウスから隣の農業用ハウスへビニールに包まれたプラスチック製のカゴ(45×45×25cm)を持って移動中、水溜まりで足を滑らせ転倒した。	62	10 ~ 29
7	11~ 12	作業所内(倉庫)で野菜をトレーに広げる作業の合間に、水分補給のためパイプ椅子に座ったとき、バランスを崩して転倒した。その際に横向きに倒れ、床(コンクリート)で右股関節部をぶつけた。パイプ椅子だったため、座る位置の重心がずれ、傾きやすくなってしまった。	56	10 ~ 29
9	16~ 17	ビニールハウス内で後ろに向かって後ろ向きに清掃している時に、足元にホースがあるのに気が付かないで引っかかってしまい、そのまま後ろ向きに転倒してしまい負傷した。	68	1~ 9
10	9~ 10	キャンパス内で造園工事を行っていた動力ブロワーを背負い、法面で集草作業中、足を滑らせ転倒し右足首を負傷した。	69	1~ 9
10	16~ 17	会社敷地内の農業散布練習用芝地で散布練習中に、右手に70cm程の金属ノズルを手に持ち後ろへ進もうとしたところ、法面で右足を滑らせ左肋骨を打ってしまった。	50	30 ~ 49
10	14~ 15	更衣室にて、その日の農業が終了し、着替えをし終え出ようとしたところ、段差につまずき右足指が地面につき骨折した。	21	10 ~ 29

10	15～ 16	作業棟内でザンサ等の搬出作業中に足を滑らせ足首を痛めた。	73	30 ～ 49
10	8～9	柚子を採集するのに畑近く車を止めた所が坂道であったため、車の後方のドアを閉めようと力を強く入れたはずみで後方に転倒。後方に置いてあったコンテナに腰を強打した。	75	1～ 9
10	7～8	バイク通勤で会社に着き、駐輪車所に停めるため、バイクに乗ったままスタンドに足をかけた所バランスを崩し倒れた時に尻をコンクリートで打った。	66	30 ～ 49
10	7～8	作業場であるハウスまで向かう途中、道路の左側の用水路に落ちた。早出の理由は作業にまだ不慣れのため早めに出勤し準備をするため。	31	1～ 9
11	9～ 10	工場敷地内にて剪定作業にあたって、高所作業機を使用中、縁石に乗り上げた為、作業機と共に転倒し、仰向けに倒れた為、後頭部、首、背中を強打した。	68	1～ 9
11	9～ 10	卵を載せたラック（総重量400kg弱、高さ180cm位、長方形はこ型、四隅の足元にコロがあり手で引くタイプ）を整理する工作中。安全靴を履いてラック置き場内で工作中。ラックアウト入り口に1台ラックがセッティングされており、そのラックの側を通り抜けようとして右足をラックの隅のコロに当てた拍子に左足が滑って広がり、左側の腰から床に倒れて打撲した。	63	10 ～ 29
11	10～ 11	個人の居宅で、塀に乗って電動バリカンを持って植木の剪定をしている時、バランスを崩して電動バリカンで、右手の人差し指の先を切った。	25	1～ 9
11	14～ 15	スリッパから安全靴に履き替える靴箱の周囲に敷かれたすのこの隙間に躓いて転び、左胸の辺りを打ちつけた。	53	100 ～ 299
11	14～ 15	クレソン栽培しているハウスでコンテナに躓き倒れそうになり咄嗟に支えようと手を出した時、体重がかかり右手を骨折した。	73	1～ 9
	14～	会社近くで作業が終わり、会社の作業場へ自転車で移動しようとした。被災者が自転車の乗車し、こぎ出そうとしたところ、雨が降っていた為、自転車のグリップ		10

11	15	が濡れており、グリップを握った両手が滑り、自転車だけ前方に走り出し、被災者は、そのはずみで左後ろ側に転倒した。その際、左手を広げた状態で地面につき、左手の薬指を受傷したものである。	22	～ 29
11	9～ 10	下水処理場にて剪定作業中、下枝を持ってジャンプして上の枝を払って着地した時、剪定ゴミで足を滑らし尻もちをついて強打し腰を痛めた。	65	1～ 9
12	14～15	5番ホールで、バンカー均し機械に乗り、バンカー均し作業をしていた。落ち葉清掃のため機械を停止し、左足から降りたときに地面のくぼみに足をとられ転倒し、足首を捻挫した。	21	～ 29
12	17～18	工場内において、業務終了後にエアーシャワー室から出たところ、床に敷いてあるマットで滑り、転倒した。その際、後頭部をかばおうと床に手をついたところ、左手首を骨折した。	61	～ 99
12	10～11	収穫した野菜の入ったコンテナを運ぶとき、二人で持つため後ろ向きで歩いていたところ、入口の戸のレールに足を引っ掛けて、後ろ向きに転倒した。	68	～ 29
12	10～11	当社育苗棟内にて、苗の鉢ずらし作業をしていた際、加温機のダクト（ビニールホース）に足を引っ掛けてしまい転倒し、頭部右側を強打した。	66	～ 99

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html